

S&Pによるメキシコの格下げについて

大和証券投資信託委託株式会社

格付会社のスタンダード・アンド・プアーズ社(以下、S&P)は、12月14日(現地時間)、メキシコの外貨建て長期債格付けを「BBB+」から「BBB」に、自国通貨建て長期債格付けを「A+」から「A」に引下げました。見通しは、「安定的」としました。

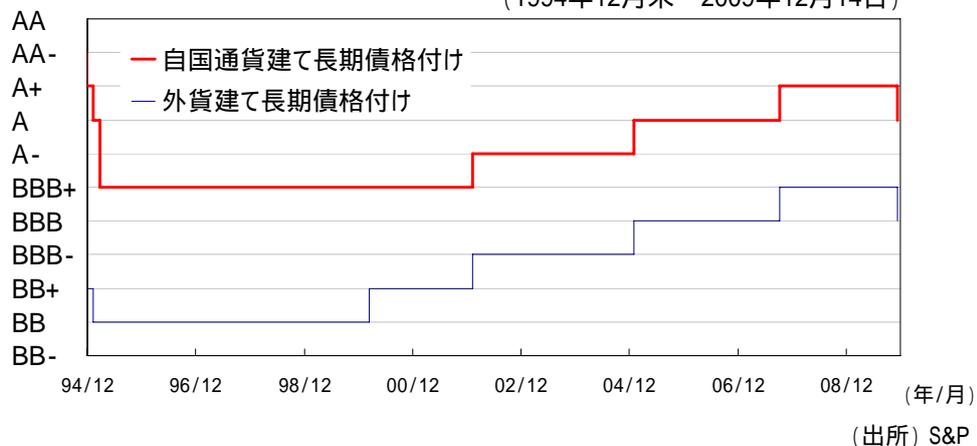
今回の格下げの理由として、S&Pは「メキシコは、原油と関連しない財政収入を増やし、経済の効率性を高めるために財政改革を行ったが、今後の緩やかな経済成長見通しや原油生産の減少を背景に、財政の脆弱性を埋め合わせるには不十分である」と指摘しました。一方、見通しを「安定的」にした理由として、「メキシコの慎重な経済政策は財政負担の増加を抑えると予想しており、財政や対外的な指標の水準は外貨建て格付けのBBBゾーンの間を維持するだろう」とコメントしました。

格下げの発表後、通貨メキシコ・ペソや株価指数メキシコボルサ指数は一時、下落する場面もありましたが、その後買い戻され、前日比では上昇となりました。債券市場では、メキシコ国債は総じて小幅な動きとなり、今回の格下げが市場に与えた影響は限定的と考えられます。これは、先月フィッチ・レーティングス社によるメキシコの格下げが行なわれたことでS&Pによる格下げの可能性が市場で予想されていたことや、格付けの見通しが「安定的」となったことを好感したものと考えられます。

メキシコの格付けについては、ムーディーズ社が外貨建ておよび自国通貨建て長期債格付けを「Baa1」、フィッチ・レーティングス社は、外貨建て長期債格付けを「BBB」、自国通貨建て長期債格付けを「BBB+」とし、共に見通しを「安定的」としています。今回の格下げの理由となった財政状況については、引き続き注意が必要となりますが、格付会社各社が見通しを「安定的」としていることから、今後、短期的な格付け変更の可能性は低いと考えています。

< S & P 格付けの推移 >

(1994年12月末～2009年12月14日)



以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会